



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 桑山 上場取引所 東
 コード番号 7889 URL http://www.kuwayama.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑山貴洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐伯 仁 TEL 03(3835)7231
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,027	△16.8	64	△80.4	111	△57.9	59	△66.1
29年3月期第1四半期	8,448	5.5	331	-	264	547.9	174	-

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 84百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △71百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.87	-
29年3月期第1四半期	17.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	31,184	15,629	50.1
29年3月期	30,265	15,635	51.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,629百万円 29年3月期 15,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	9.00	-	9.00	18.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	9.00	-	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.6	1,300	1.4	1,280	△18.8	720	23.0	71.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	10,331,546株	29年3月期	10,331,546株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	274,838株	29年3月期	274,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	10,056,708株	29年3月期1Q	10,056,728株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用、所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調となりましたが、個人消費は弱含みの推移が続いております。また海外では中国をはじめとする新興国経済の成長の鈍化や、米国新政権による政策動向などから先行きに不透明感が強まっており、予断を許さない状況です。

当業界に関わりの強い個人消費は、持ち直しの動きがあるものの、先行き不安感から消費者マインドの改善には至らず、市場環境はやや厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループにおきましては、「クオリティ・ファースト」を掲げ、製品品質のみならず企画提案力や営業対応力をも企業活動の品質と捉え、その改善・強化を進め、ジュエリー製造国内トップシェアの地位を磐石としました。

当四半期においては、国際的なダイヤモンド市場の低迷と、中国での経済成長減速に影響された同地域での宝飾市場の停滞から、海外市場に於ける当社のダイヤモンド素材販売が大幅に減少しました。

国内市場でも、ダイヤモンド素材販売やプライダルジュエリーの販売が減少し、当四半期での売上高は減少となりました。しかしダイヤモンド素材販売は、コモディティ的な性格から売上総利益への影響は限定的でした。

一方、製造面では海外製造拠点での生産能力拡大が計画どおり実現し、今期のクリスマス商盛期に向けての受注体制が整いました。しかし、能力拡大にともなう海外製造拠点での経費増から、当四半期での販売管理費の減少は僅かに留まり、結果的に当期営業利益の大幅な減少となりました。

但し、通期との比較で、当第1四半期は売上・利益の発生比率が最も低く、販売管理費は各四半期でほぼ一定比率での発生となるため、今後、四半期毎に徐々に売上・利益の比率が上昇すると見込まれ、平成29年5月11日発表の通期連結業績予想に修正はありません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は70億27百万円（前年同四半期比16.8%減）、売上総利益は21億75百万円（前年同四半期比13.0%減）となり、販売費及び一般管理費は上記の理由から21億10百万円（前年同四半期比2.6%減）と減少は限定的になり、営業利益は64百万円（前年同四半期比80.4%減）、経常利益は前期では為替差損が生じたが当期では為替差益に転じたため1億11百万円（前年同四半期比57.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円（前年同四半期比66.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ9億18百万円増加し311億84百万円となりました。主な要因は商品及び製品の増加6億57百万円、流動資産その他に含まれる短期差入保証金の増加7億67百万円、売上債権の減少3億14百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億25百万円増加し155億55百万円となりました。主な要因は借入金の増加14億14百万円や、未払法人税等の減少5億28百万円等によるものであります。

これらにより当第1四半期連結会計期間末の純資産は156億29百万円となり、前連結会計年度末と比べ6百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,757,135	3,550,224
受取手形及び売掛金(純額)	4,376,968	4,062,696
商品及び製品	7,172,515	7,830,278
仕掛品	1,422,923	1,449,756
原材料及び貯蔵品	1,650,555	1,549,127
繰延税金資産	110,967	107,967
その他	910,763	1,662,067
流動資産合計	19,401,828	20,212,119
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,140,818	5,141,696
その他(純額)	2,200,898	2,239,486
有形固定資産合計	7,341,717	7,381,183
無形固定資産		
のれん	17,432	16,887
その他	690,906	683,382
無形固定資産合計	708,338	700,269
投資その他の資産	2,813,745	2,890,618
固定資産合計	10,863,800	10,972,072
資産合計	30,265,629	31,184,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114,398	1,168,072
短期借入金	2,808,940	4,725,885
未払法人税等	605,616	77,329
賞与引当金	130,856	194,315
その他	2,444,991	2,425,075
流動負債合計	7,104,802	8,590,677
固定負債		
長期借入金	6,505,202	5,934,874
繰延税金負債	120,830	145,519
役員退職慰労引当金	541,775	547,850
その他	357,529	336,220
固定負債合計	7,525,337	6,964,464
負債合計	14,630,140	15,555,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,013,529	3,013,529
資本剰余金	2,944,389	2,944,389
利益剰余金	9,196,289	9,164,881
自己株式	△156,436	△156,436
株主資本合計	14,997,771	14,966,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,161	441,683
為替換算調整勘定	252,555	221,001
その他の包括利益累計額合計	637,716	662,685
純資産合計	15,635,488	15,629,049
負債純資産合計	30,265,629	31,184,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,448,925	7,027,046
売上原価	5,949,229	4,851,441
売上総利益	2,499,696	2,175,604
販売費及び一般管理費	2,167,779	2,110,622
営業利益	331,916	64,982
営業外収益		
受取利息	1,071	899
受取配当金	29,556	26,690
不動産賃貸料	7,140	9,742
為替差益	—	17,619
受取補償金	10,364	9,321
その他	4,599	10,764
営業外収益合計	52,732	75,038
営業外費用		
支払利息	18,795	14,490
為替差損	91,368	—
地金品借料	4,257	9,609
その他	5,814	4,729
営業外費用合計	120,236	28,829
経常利益	264,412	111,190
特別利益		
固定資産売却益	158	595
特別利益合計	158	595
特別損失		
固定資産売却損	—	4,764
固定資産除却損	—	1,153
特別損失合計	—	5,917
税金等調整前四半期純利益	264,570	105,868
法人税、住民税及び事業税	91,728	55,297
法人税等調整額	△1,757	△8,531
法人税等合計	89,970	46,766
四半期純利益	174,599	59,102
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,599	59,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	174,599	59,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167,888	56,522
為替換算調整勘定	△77,775	△31,553
その他の包括利益合計	△245,663	24,968
四半期包括利益	△71,063	84,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,063	84,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。